



# みらいつうしん

10月号

2023年10月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子

## 遊びの中で主体性を育む子ども達

「いつになったら涼くなるの」と思っていましたら、やっと秋風が心地よい季節となりました。朝晩と日中の寒暖差を感じますので、引き続き体調管理にお気を付け下さい。

さて、秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・思い浮かべるとたくさんあります。散歩、遠足、お月見、ハロウィン等のイベントが目白押しで、読書の秋の如く、集中力も増し、たくさんの学びを吸収すると言われています。また秋は、「女心と秋の空」とよく言われるように天候の変化も激しいです。また秋は、味覚の秋ともいわれるように、梨、新米、秋鮭、栗、さつま芋、柿など旬な美味しい食べ物がたくさん実りを迎えることから、食欲が増し体力もパワーアップすることができますね。みらいこども園の子ども達も、秋の風を身体一杯に感じ、毎日園庭を駆け回り、笑い声と元気な姿を見せてくれています。2学期に入り友達同士の関わりが増えたことで、小さな「子ども社会」にも大きな変化が生まれ、遊びもかなり活発になりました。好きなことを見つけて喜んで遊んでいる子、1つの遊びに夢中になっている子、仲の良い友達と会話をしながら遊びを共有し工夫して楽しんでいる子、お兄さんお姉さんの姿に憧れ一生懸命挑戦する子など、十人十色ではありますが、たくさんの場面で、より成長している姿が感じとれます。時に自分の思いが通らず泣いたり、落ち込んだり、相手を罵倒したり、手が出てしまうなどの心の葛藤もありますが、自らが環境に関わり、良し悪しに気づき、感じ、考えて行動することは、主体性が養われていることです。「子どもの社会」の生活や遊びを体験することで、集団生活における人間関係の大切さを知り、友達と伝え合い分かち合う喜びを得ることで、人への信頼感、思いやり、尊重する気持ちが芽生え人と生きる術を学びます。この秋の実り溢れる機に大いに遊び、様々な経験をして欲しいと思います。

9月14日は、4、5歳のクラスだけでしたが、「秋桜の会」が4年ぶりに行われ、たくさんのおじい様、おばあ様に参加していただきました。子ども達への眼差しがとても温かく、自分のお孫さんだけでなく、一緒に触れ合っている姿が見られ、ほのぼのとした時間を過ごすことが出来ました。帰りには、「楽しかったです」と嬉しいお言葉もいただき、子ども達にとっても良い体験になりました。

9月16日は、乳児クラスの「親子で遊ぼう☆ふれあいひろば」が行われました。「乳児さんでもこんなことができるの?」「こんなことに興味を持つてるの?」と親子で遊びを体験することで、たくさんの発見が出来たと感想をいただきました。子どもにとっていかに遊びが大切なのか少しの時間ではありましたが、感じ取っていただけて職員もより一層の意欲が持てました。10月は幼児クラスの「親子で遊ぼう☆ふれあいデイ」「お芋掘り」「遠足」があります。子ども達にとって、楽しさの中にもたくさんの学びが得られることを大いに期待いたします。



秋桜の会



乳児親子で遊ぼう☆ふれあいひろば

